

## 第6回セミナー「文化財巡り」実施報告

- ◆開催日時 2019年 5月25日(土) 13時半から16時半
- ◆開催場所 皇居周辺
- ◆参加者 約11名(会員及び一般市民)

### 1. 代表理事挨拶 代表理事 小竹 直隆

当日は、最高気温30度を超える快晴のなか、代表理事・小竹によるご参加の御礼と講師・後藤様のご紹介から始まりました。



後藤様は「江戸城ならこの男」NHKブラタモリの案内人としても有名になりましたが、そもそも、江戸城をお仕事としてこられ、その実体験に裏付けられた専門知識は、知る人ぞ知る全国的に有名はお方です。今日は、一味違った文化財巡りとなることでしょう。

今回のルートは、「天皇陛下御即位」や「オリパラ2020マラソンコース」を鑑み、旧江戸城と皇居の歴史をご案内するものとなりました。

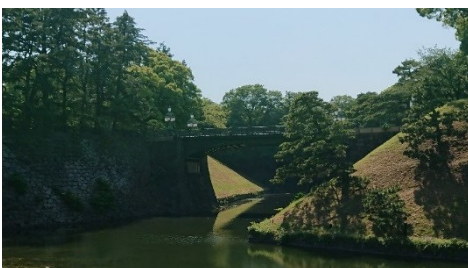
各所で、豊富な資料とともに、実際に調査に携わられた後藤様ならではのご解説がありました。

### 2. 講演 講師： 後藤 宏樹 様 (江戸都市史研究家/NHKブラタモリの案内人)



桜田門

集場所でもある桜田門では、三方をお濠で囲まれた異例と思われる大きさの門であり、明治元年には、ここから明治天皇が入城されたとのこと説明がありました。



二重橋・鉄橋

続いての二重橋では、かつては奥の鉄橋が“二重橋”であったことや諸大名が駕籠を降りる下乗橋としての機能、橋にある意匠のご説明がありました。



二重橋・石橋

休憩場所の和田倉噴水公園では、“わだ（海の古語）”倉の名のとおり、海からつながる「一の蔵」であったことのご説明や、和田倉無料休憩所にある発掘調査のご紹介などがありました。



和田倉噴水公園

- 大手門 ↓  
↓  
↓  
↓  
中之門 ↓  
↓  
中雀門 ↓  
↓  
本丸 ↓  
↓  
天守台
- 後半は、**大手門・中の門・中雀門**からご案内いただきました。この区画は大名登城路として、江戸城正面玄関として、警備および権威のために大変堅固に作られたことがご説明されました。
- 枢密院や清寧館など皇居内の近代建造物についてもご説明がありました。
- 花崗岩の大きな石材が見られます。
- 出土品から、熊本藩や鳥取藩によって修復工事がされたことがわかっているそうです。
- 江戸城**本丸**台までは、富士見櫓・上埋門・松の廊下・ご休息所・富士見多門・石室など各所で当時の生活を含めてのご説明がありました。
- 天守台**では、かつて天守が60mもの高さに及んだこと、またその周辺からの見え方や、加賀藩によって完成した現存天守台におけるより高く見せるための石積みの工夫などのご説明がありました。

#### ・ 参加者アンケート



北桔橋門

「大変よかった」が**100%**の結果となり、大好評でした。

また、「後藤様の説明が大変わかりやすかった」、「聞けないことが聞ける良い機会でした。とても勉強になりました」「また参加したい」といったご意見を頂きました。

今後のセミナー企画に反映させて参ります。

以上